

岩手芸術祭で受賞した作品の前で、ずっと笑顔を見せるあきおさん。



これまで培ってきたデザインの仕事を金ケ崎に役立てていきたい



おばら
小原 あきおさん (56歳)
谷地下在住

デザイナー。広告制作会社「ロケット広告制作室」代表。イラストレーションとグラフィックデザインを駆使してポスターや広告などを制作。2020年に地元金ケ崎へ。趣味は写真撮影。愛猫「すず」と1人(1匹)暮らし。

広告制作会社の代表として、ポスターや広告、ロゴデザイン、テレビCMなどを制作するあきおさん。金ケ崎の「白糸ちゃん」や「しずくちゃん」、金ケ崎高校のロゴマーク制作などにも携わり、地域の魅力発信に尽力している。

学生時代は漫画家になるのが夢だったあきおさん。23歳から広告代理店や広告制作プロダクションで働き、デザインや広告制作の考え方を学んだ。36歳の頃に盛岡で広告制作会社を設立。毎日遅くまで仕事に明け暮れた。

独立後は、温泉郷の観光案内のイラストマップを制作したこともあった。当時は地図アプリも普及していなかったため、2カ月かけて一つ一つ道と建物を確認しながらイラストを描いた。大変な作業だったが広範囲で密度のある絵柄は、イラスト表現の発見でもあり、以降の仕事に大きく影響したという。

大切にしているのは、「広告代理店勤務時に上司から言われた「期待に応えろ」という言葉。自分に仕事が来るのは何かを期待されているから。50歳を過ぎ、いま自分がここにいる意味を考えたとき、受ける期待には精一杯応えたいと思うようになった。

2020年に地元金ケ崎へ。コロナ禍による在宅勤務の流行は金ケ崎で仕事をする追い風となった。今後は、「グラフィックデザインを利用して、子どもたちの新たな発見のきっかけとなるようなギャラリーを作っていけたら」と夢を語ってくれた。

グラフィックデザイン…文字や画像、イラストなどを使って情報を伝達するデザイン。 ギャラリー…美術作品の展示場。

広報日記



今月は金ケ崎高校の卒業式を取材させていただきました。式後の教室では、先生から卒業生に卒業証書が手渡され、3年間の頑張りを労いながら、親や支えてくれた人たちへの感謝の言葉をしっかりと伝えてほしいとお話がありました。「ありがとうございます」に回数制限はないので、たくさん伝えていきたいですね。さて、本年度も無事に広報を発行することができました。忙しいなか取材にご協力いただいた皆さん、広報紙を読んでいた皆さん、本当にありがとうございました。 (村口)



町公式 LINE

人口と世帯		2月29日現在	
		※()内は前月比	
人口	15,128人	(-34)	
男	7,770人	(-20)	
女	7,358人	(-14)	
世帯数	6,341世帯	(-22)	